

平成27年度・地域密着型金融の取組み状況について

- 当金庫は、平成27年4月よりスタートした中期経営計画『あぶくまスクラム強化3ヵ年計画』におきまして、「営業基盤・支援力の強化」、「経営力・内部態勢の強化」、「組織力・人材力の強化」、「つなぐ力・総合力の強化」を基本方針として、具体的な方策に取組んでおります。
- 平成27年度～平成29年度における『地域密着型金融推進計画』については、この『営業基盤・支援力の強化』を踏まえ、(1)取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮、(2)地域の面的再生への積極的な参画、(3)地域利用者に対する積極的な情報発信、以上の3項目について取組み策を策定し、重点的に取組んでまいります。
- また、当金庫は、平成24年2月公的資本支援を受けた際に策定した『特定震災特例経営強化計画』に掲げた各施策を強力に推進し、地域の復旧・復興および地域経済の活性化に全力で取組んでおります。
この安定した財務基盤を活かし、地域の復旧・復興および地域経済の活性化に貢献するため、特定震災特例経営強化計画を策定し、(1)中小規模の事業者に対する信用供与の円滑化、(2)被災者への信用供与および支援、(3)被災地域における復興支援、(4)その他地域経済の活性化に資する方策を実施しております。
- 当金庫は、引き続き地域の復旧・復興、地域経済の活性化に貢献するため、『地域密着型金融推進計画』、中期経営計画『あぶくまスクラム強化3ヵ年計画』および『特定震災特例経営強化計画』を連携させ、着実に推進するべく推進させてまいります。
- 以上を踏まえた平成27年度の「地域密着型金融推進計画」の具体的な取組み状況につきましては、以下のとおりでございます。

1. 取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮

企業のライフステージ	取引方針	取組策・取組状況
(1) 創業・新事業開拓を目指す取引先企業	● 外部機関との連携による取引先企業の創業・新事業開拓支援	① 県信用保証協会等との連携強化による制度融資活用 ・ 平成27年7月 福島県信用保証協会との協議会開催。 ・ 県信用保証協会付貸出金 平成27年度新規実行 42件 635百万円。 ② 日本政策金融公庫との提携による協調融資 ・ 平成27年10月 日本政策金融公庫との協議会開催。 ・ 平成26年7月新覚書締結後の協調融資 新規実行累計 10件 357百万円。 ③ TKC会計人との連携による相談業務の強化 ・ 平成27年10月 TKC東北会福島県支部相馬部会との第16回交流会開催。 ・ 平成27年12月 TKC東北会福島県支部いわき部会との第3回交流会開催。 ④ 無担保プロパー創業資金の活用 ・ プロパー創業支援資金「あぶくま・サポートⅢ」 平成28年3月末残高 3件 2百万円。 ・ 被災地で新たに事業を開始する事業者等を対象としたプロパー利子補給型融資「メットライフ復興事業みらい基金」の取扱いを平成28年3月より開始。 平成27年度新規実行 1件 10百万円。

企業のライフステージ	取引方針	取組策・取組状況
(2) 成長段階における更なる飛躍が見込まれる取引先企業	● 外部機関との連携等による取引先のビジネスマッチング支援	① 東北地区信用金庫協会等とのビジネスマッチング参画による販路開拓支援 ・平成27年7月 ビジネスマッチ東北ハンズオン支援事業Ⅳ 出展企業 1先。 ・平成27年9月 2015“よい仕事おこし”フェア 出展企業 3先。 ・平成27年11月 ビジネスマッチ東北2015 出展企業 5先。 ② 経営支援NPOのコーディネーターとの帯同訪問による販路開拓のサポート ・厨房機器製造・ステンレス加工業の当金庫お取引先が「ビジネスマッチング東北2014」や「地域興マッチング 結の場」等への出展を通じて、当社の加工技術が高く評価されて、ステンレス製スベリ台の製造に係る新規商談が成立。
(3) 経営改善が必要な取引先企業 (次頁に続く)	● 取引先の実態把握および経営改善支援	① 「経営支援会議」による支援先選定と進捗状況の検証 ・平成27年7月 平成27年度第1回経営支援会議開催 850先抽出。 ・平成27年12月 平成27年度第2回経営支援会議開催 800先抽出。 ・平成27年度 経営改善支援先 42先選定。 【取組み実績は下表のとおり】

平成27年度経営改善支援先の取組み実績

(単位: 先数、%)

債務者区分	期初 債務者数	うち 経営改善 支援取組先	αのうち	αのうち	αのうち	経営改善 支援取組率	ランクアップ 率	経営改善 計画策定率
			期末に 区分が 上昇した 先	期末に 区分が 変化しな かった先	経営改善 計画を策定 した先			
	A	α	β	γ	δ	α/A	β/α	δ/α
正常先	637	4	－	3	4	0.6 %	0.0 %	100.0 %
その他要注意先	250	31	3	26	18	12.4 %	9.6 %	58.0 %
要管理先	8	4	－	4	2	50.0 %	0.0 %	50.0 %
破綻懸念先	3	2	－	2	2	66.6 %	0.0 %	100.0 %
実質破綻先	44	1	－	－	－	2.2 %	0.0 %	0.0 %
破綻先	1	－	－	－	－	－	－	－
合計	943	42	3	35	26	4.4 %	7.1 %	61.9 %

(注) みなし正常先については正常先の債務者数に計上しています。

・ 期初債務者数および債務者区分は平成27年4月初時点
で整理しています。

・ 債務者数、経営改善支援取組先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含みません。

・ βには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。なお、経営改善支援取組先で期中に完済した債務者はαに含めるもののβに含みません。

・ 期初の債務者区分が「要管理先」であった先が期末に債務者区分が「その他要注意先」にランクアップした場合はβに含めます。

・ 期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理しています。

・ 期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含みません。

・ γには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しています。

企業のライフステージ	取引方針	取組策・取組状況
(3) 経営改善が必要な取引先企業 (前頁から続く)	● 外部機関と連携した経営改善支援	② 中小企業再生支援協議会、TKC会計人と連携し実現可能性のある支援策の策定 ・ 福島県/宮城県中小企業再生支援協議会の活用実績累計 4先。 ・ TKC会計人と連携した改善計画策定支援事業実績累計 1先。 ③ 返済条件変更への柔軟な対応 ・ 中小企業の金融円滑化条件変更実施累計 502先 34,472百万円。 (うち、被災者向け 405先 24,164百万円)
(4) 事業再生や業種転換が必要な取引先企業	● 外部機関との連携等による取引先企業の事業再生支援	① 中小企業再生支援協議会と連携した経営改善計画の策定と計画に基づく条件変更の実施 ・ 福島県/宮城県中小企業再生支援協議会の活用実績累計 4先。 ② 福島/宮城産業復興機構、(株)東日本大震災事業者再生支援機構を活用した既存債務の買取りによる事業再生支援 ・ 福島/宮城産業復興機構の活用実績累計 5先。 ・ (株)東日本大震災事業者再生支援機構の活用実績累計 5先。 ③ 資本金借入金等を活用したバランスシート改善による事業再生支援 ・ プロパー対応は実績なし。今後、案件に応じて対応してまいります。 ④ 事業再生ファンドを活用したバランスシート改善による事業再生支援 ・ 信金キャピタル復興支援ファンド「しんきんの絆」の活用実績累計 2先。
(5) 事業の持続可能性が見込まれない取引先企業	● 廃業、ソフトランディングに向けた支援	① 経営者の事業意欲、資産状況等を充分勘案し、M&A等事業承継および他の選択肢として債務整理・自主廃業の提案等の支援を実施 ・ 経営者の事業意欲、資産状況等を充分勘案したうえで、取引状況を考慮し、M&A等事業承継の選択肢が提案できないか慎重かつ十分な検討のうえ、必要に応じて、税理士、弁護士等の専門家と連携を図り対応してまいります。
(6) 事業承継が必要な取引先企業	● 後継者育成支援 ● 外部機関と連携したM&Aの活用	① 若手経営者の会員組織「あぶくま元気塾」を活用した事業後継者の育成支援 ・ 当金庫お取引先の次世代を担う若手経営者の顧客組織「あぶくま元気塾」を平成15年11月に立ち上げており、これまで講演会・セミナーの開催や視察研修の実施等、後継者の育成にも積極的に取り組んでおり、引続き継続実践してまいります。 ② 信金キャピタル等との連携によるM&Aを活用した事業承継への取組み ・ 実績なし。今後、案件に応じて対応してまいります。

2. 地域の面的再生への積極的な参画

取組項目	取組策・取組状況
(1) 地方公共団体や中小企業団体等による地域活性化プロジェクトへの積極的な参画	① 地方公共団体が策定する『まち・ひと・しごと創生「地方版総合戦略」』の策定・実行支援 - 平成28年3月末現在、福島県相馬市、南相馬市、浪江町、新地町および宮城県亘理町と地域経済の振興等を目的とした地域密着総合連携協定を締結。 - 上記締結自治体に居住する住民を対象とした「地方創生住宅ローン、地方創生教育ローン」の取扱いを開始。 平成28年3月末 地方創生住宅ローン 実行累計 7先 129百万円。 平成28年3月末 地方創生教育ローン 実行累計 4先 2百万円。 ② 商工会議所等との連携による地域活性化プロジェクトへの参画 - 引続き、積極的に参画してまいります。
(2) 地域の文化発展および金融知識普及への参画	① 信金中央金庫を通じた日本NPOセンターとの連携による地域文化への助成 「安波津野神社例大祭(あんばさま伝承祭り)実行委員会(新地町)」様に対する、神輿製作費用の贈呈。 「浪江町伝統芸能映像記録作成事業実行委員会」様(浪江町)に対する、映像記録の内製化に必要な撮影・編集機材等の購入にかかる助成。 ② 地域の将来を担う子供たちを対象とした「マネースクール」等の開催および「あぶくま元気塾」の」会員等を対象にした講演会等の開催 - 引続き、上記取組策を継続実践してまいります。

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

取組項目	取組策・取組状況
(1) 地域や利用者に対する積極的な情報発信	① ディスクロージャー誌、インターネット・ホームページ等による積極的な情報発信 ② 「特定震災特例経営強化計画履行状況報告」の公表 ③ ラジオ等のメディアを通じた地域密着型金融への取組状況の発信 引続き、上記取組策を継続実践してまいります。

地域密着総合連携協定



南相馬市



相馬市



浪江町



新地町



宮城県亘理町

「安波津野神社例大祭(あんばさま伝承祭り) 実行委員会」様に対する助成金の贈呈



【目録の贈呈】



【記念撮影】

「浪江町伝統芸能映像記録作成事業実行委員会」 様に対する助成金の贈呈



【目録の贈呈】



【記念撮影】

夏休みしんきん「マネースクール」



【本物の1億円の前で記念撮影】



【いらっしゃいませ～！！】

あぶくま元気塾の活動



【城南信用金庫若手経営者との合同勉強会】



【東京証券取引所視察】